

平成23年2月

松波馨士 学位論文審査要旨

主 査 清 水 英 治
副主査 景 山 誠 二
同 井 藤 久 雄

主論文

肺癌における体細胞性PARK2遺伝子変異の頻度と特異性

(著者：松波馨士、松本慎吾)

平成23年 米子医学雑誌 62巻 31頁～43頁

審 査 結 果 の 要 旨

本研究は、PARK2 の体細胞性遺伝子変異が肺癌のなかでも特に腺癌や小細胞癌で存在し、いずれも喫煙と関連した癌形成に関与する可能性を示した。その結果、PARK2 変異の検出が肺癌の診断や病態解明さらには肺癌の新たな治療標的となることが示された。本論文の内容は、PARK2 遺伝子変異の分子発癌メカニズムの研究が喫煙関連肺癌の診療に有用である可能性を示唆したものであり、明らかに学術の水準を高めたものと認められる。